Webサイト運用支援サービス

Webサイト運用を、
次の一手まで。

サイト診断・ページ改善・記事制作をつなぎ、
自社で進めるWeb運用を支えます。

何ができるか。どう使うか。誰が動くか。

SHILBe WORKFLOW



SHILBe

知りたいことから、読み進める。

概要だけでなく、提案の具体像と、担当者の役割までまとめました。

何が変わる？

どう使う？

何を準備する？

検討の段階に合わせて、
必要な章からご覧ください。

料金を見る → P16

01 SHILBeの全体像 03–07
役割・支援範囲・2つの主要機能

02 ページ改善の具体像 08–10
改善案・Before / After・対応範囲

03 記事制作の具体像 11–12
タイトルから投稿まで・記事構成例

04 継続運用と導入の準備 13–20
優先順位・役割分担・費用比較・始め方

右側のページ番号から各章へ移動できます。各ページの「目次へ」から、このページに戻れます。

SHILBe

止まりやすいのは、分析のあと。

課題は見えた。でも、次に何をするかで迷ってしまう。そんな状態になっていませんか。

データを見る → 改善を考える → 制作・実装する → 振り返る

優先順位

何から直す？

課題は見えるが、
着手する順番が決まらない。

記事の具体化

何を書けばよい？

テーマ・構成・本文を
一から考える必要がある。

実行体制

誰が進める？

社内でできることと、
外部に依頼することが曖昧。

SHILBeは、「見る」と「動く」の間を支援します。

SHILBe

知る・決める・つくる・続けるを、ひとつに。

サイト診断から改善案・記事原稿・タスクへ。分析と実作業の間をつなぎます。

前提になる情報　事業情報 / サイト情報 / 登録・連携した分析情報

01 知る

現状と課題を知る

サイト診断・再診断
検索データ・アクセス解析

02 決める

次にやることを選ぶ

課題・優先度の整理
取り組む内容の確認

03 つくる

改善・制作を進める

ページ改善
記事作成

04 続ける

実行と振り返りへ

ダッシュボード
タスク管理

得られるもの　改善案　記事原稿　次にやること

連携機能はプラン・接続状況により異なります。各プランの主な機能はP16をご覧ください。

SHILBe

担当者は、判断と実行に集中する。

一から考える工程を、SHILBeの提案をもとに進める工程へ。

	01 課題の把握	02 改善の具体化	03 記事制作	04 次の取り組み
自社で進める例 担当者が検討・作業	データから課題を整理	対象と修正内容を一から検討	タイトル・構成・本文を作成	実施内容を整理し次の作業を検討
SHILBeを活用 青：SHILBeの支援 紺：担当者の確認	**サイト診断・改善候補の整理** **取り組む内容を選ぶ**	**具体的な改善案の提示** **反映方法を決める**	**タイトルから本文まで作成支援** **事実・掲載可否を確認**	**タスク管理・分析情報の確認** **振り返り、次を選ぶ**

ページの改修や最終的な公開判断は、社内・制作会社が担います。

作業分担の比較例です。図形の長さ・面積は、所要時間や削減率を表しません。

SHILBe

自社の情報が、提案の前提になる。

質問への回答から強みや選ばれる理由を整理し、確認した情報を改善と記事制作に活用します。

01

質問に答える

お客様の悩み、サービスの特徴、
自社の強みを整理。

02

情報を確認する

AIが整理した内容を確認し、
自社の事実に合うように整える。

03

提案に活用する

確認した情報を、ページ改善案と
記事のテーマ・本文づくりへ。

サイトの情報・分析データも、合わせて確認

サイト情報

ページの内容・構造・導線

検索・アクセス情報

Search Console / GA4

表示性能の情報

PageSpeed Insights

確認した事業情報をもとに提案します。分析連携はプラン・接続状況により異なります。主なプラン別機能はP16をご覧ください。

SHILBe

「整える」と「つくる」。2つの進め方。

今あるページと、新しく届ける記事。目的に合わせて使い分けます。

ページ改善

01

今あるページを、伝わる状態に。

課題を見つける

具体的な改善案を確認する

対応方法を考える



得られるもの　**具体的な改善案・掲載用の文章**

記事制作

02

読者の疑問に答える記事を、新しく。

テーマ・タイトルを考える

構成・見出しを組み立てる

本文を作成する



得られるもの　**確認・編集して公開する記事原稿**

どちらも、事業と読者に必要な情報から考えます。

SHILBe

ページ改善は、「どこを・どう直すか」まで。

改善案を読むときの視点を、具体例で整理します。見出し・説明文・FAQ・導線などが対象です。

「説明が足りない」で終わらせない。

取り組む理由と、
実際の作業をひと続きに。

- 説明文・FAQ・構造
- 導線
- 掲載用の文章案

改善案の読み方 / 説明例

サービスページに「相談の流れ」を追加

対象	サービス紹介ページ
根拠	相談後の手順がページ内で確認できない
内容	登録済みの「相談 → 内容確認 → 見積もり」を掲載
実施方法	既存の説明文の下に、手順の案内を追加
確認すること	各段階の内容と次の行動を確認できる

判断から実行までに必要な情報をそろえます。

説明用の架空例です。製品の固定出力項目・実画面を示すものではありません。改善内容はサイトの目的・確認した事業情報等で変わります。

SHILBe

説明を増やすより、判断材料を整える。

事業情報に登録済みの手順を、読者が確認しやすい形へ。

BEFORE

Webサイト制作

目的に合わせてホームページを制作します。
詳しくはご相談ください。

相談した後、どう進むのか？

流れが見えない

AFTER

Webサイト制作

ご相談からお見積もりまで

01 ご相談
フォームから
相談内容を送信

02 内容確認
担当者が
要望を確認

03 お見積もり
確認した条件で
見積もりを提示

✓ 次の行動を判断できる

説明用の架空例です。実画面や導入成果ではありません。未確認の料金・実績・条件は補いません。

SHILBe

実行できる範囲に合わせて、改善を選ぶ。

改善案を実行する前に、自社の対応範囲・制作会社への依頼・必要な費用を整理しましょう。

01 自社で扱える範囲

文章変更や画像差し替えなど、
社内で対応できる作業を整理。

02 外部への依頼範囲

HTML編集やレイアウト変更など、
制作会社に依頼できるかを確認。

03 追加費用の方針

費用がかかる改善を、
実行するかどうかを検討。

対応範囲の整理例

	自社	外部	要確認
文章変更	✓		
画像差し替え	✓		
HTML・レイアウト		✓	
サーバー設定			✓

不明な作業や費用は、対応できると決めつけず、実行前に確認します。

運用時の役割分担の例です。点は担当区分を表します。設定画面を示すものではなく、対応可否は自社の体制や契約内容により異なります。

SHILBe

記事づくりを、テーマ選定から投稿まで。

原稿づくりを支援し、担当者の確認・編集を挟んで公開へ進めます。

SHILBeが原稿づくりを支援 | 担当者が確認 | 連携して投稿

01
テーマ・タイトル
主題を選び、
タイトル案を確認

02
構成・見出し
必要な論点と
読む順番を整理

03
本文
原稿を作成し、
自社の情報を補足

04
内容確認
事実・表現・
掲載可否をチェック

05
投稿
WordPressへ
連携して投稿

公開前に確認すること

- ✓ 事実と掲載可否
- ✓ 自社ならではの情報
- ✓ 読者への伝わり方

WordPressの連携設定や公開手順は、利用環境に応じて確認します。原稿の最終確認と公開判断は担当者が行います。

SHILBe

読者の疑問を、記事の設計図に変える。

例：初めてWeb制作を依頼する担当者へ、相談前に必要な準備を伝える。

入力を整理する

事業

Webサイト制作

読者

初めて制作を依頼する担当者

疑問

**相談前に、
何を決めればよいか。**

記事構成案 / 説明用

ホームページ制作を依頼する前に整理したい目的と必要な情報

- H2 制作の目的と、重視すること
- H2 掲載したい情報と、準備する素材
- H2 相談時に確認したい項目

テーマ → タイトル → 見出しの順に、読者に必要な情報を整理します。

テーマ・構成は説明用の架空例です。検索需要・掲載順位・導入成果を表すものではありません。

SHILBe

「全部」より、「次の一件」を決める。

重要性と着手しやすさを整理し、対応できる体制・費用と合わせて判断します。



選ぶときの3つの視点

01 **サイトの目的**

どのページで、何を伝えるか。

02 **対応できる人**

社内で進めるか、外部に頼むか。

03 **追加でかかる費用**

準備や依頼が必要か。

運用判断の参考図です。SHILBeの自動判定ロジック・実測値・効果予測を示すものではありません。

SHILBe

実行したことを、次の改善につなげる。

診断・ページ改善・記事制作を、無理なく続けられる運用へ。



毎回、見るものを そろえる。

実施内容

何を変え、何を公開したか。

変化

データやページに、どんな変化があったか。

次の取り組み

続けること・見直すことを整理。

運用の頻度・作業量は自社で調整します。数値の変化だけで、改善施策の効果と断定するものではありません。

内製化は、「全部自分で」ではありません。

社内で判断する部分を持ち、専門的な実装は必要に応じて制作会社と分担します。

SHILBe

提案・下書き

- ✓ サイト診断・課題整理
- ✓ ページ改善案の提示
- ✓ 記事の構成・本文作成

社内担当者

選択・確認

- ✓ 事業情報と体制の確認
- ✓ 提案の採用・内容の編集
- ✓ 公開・実行の判断

制作会社など

必要な実装

- ✓ HTML・レイアウト調整
- ✓ 技術的な設定への対応
- ✓ 社内だけでは難しい作業

判断と実装を分け、自社の体制に合う進め方へ。

役割分担の例です。実際の依頼範囲・責任分担・追加費用は、自社の体制や契約内容に合わせて確認します。

SHILBe

必要なデータと体制に合わせて、選ぶ。

4つの月額プラン。サイト診断・事業情報・タスク管理・記事／ページ改善のAI生成は全プラン共通です。

STARTER

スターター

2,970 円／月（税込）

AIクレジット 1,500／月

1サイト ／ 1名

- ✓ サイト診断・再診断
- ✓ 事業情報の整理・AI追加質問
- ✓ 改善タスク管理

LIGHT

ライト

6,930 円／月（税込）

AIクレジット 3,500／月

1サイト ／ 1名

- ✓ 記事・ページ改善のAI生成
- ✓ PageSpeed Insights
- ✓ 表示速度・ページ品質を確認

STANDARD

スタンダード

19,800 円／月（税込）

AIクレジット 10,000／月

1サイト ／ 3名

- ✓ Search Console・GA4連携
- ✓ 検索・アクセスのページ別照合
- ✓ データを活用した改善に

PRO

プロ

39,600 円／月（税込）

AIクレジット 20,000／月

5サイト ／ 5名

- ✓ 複数サイト管理
- ✓ タスクの承認・コメント
- ✓ 記事構成・本文の承認

スタンダードの利用目安 **記事 月約12本 ＋ 診断・ページ改善などを併用**

月12本は通常運用の目安で、使い方により変動します。固定上限・保証本数ではありません。連携機能・クレジットの詳細は料金ページをご確認ください。

SHILBe

週2本の運用を、同じ条件で比べる。

1サイトの月次分析・ページ改善の検討と、記事の企画・構成・本文作成を想定したモデルです。

比較条件　**週2本 × 4週間 ＝ 月8本 ＋ 月次の分析・改善提案**

外注モデル

専門家に分析・提案と記事制作を依頼

分析・改善提案	15万円／月
記事 4万円 × 8本	32万円／月
月間の比較対象費用	**47万円**

SHILBeで内製

AIを使い、担当者が確認・編集して進める

スタンダード利用料	1.8万円／月
追加社内作業 40h × 2,500円	10万円／月
社内作業の評価額を含む	**11.8万円**

AIクレジットの範囲内なら、記事本数を増やしても利用料は同じです。

スタンダードは、診断・ページ改善などを併用しながら月約12本を想定。本数を増やすほど、1本あたりの利用料を抑えられます。

※月約12本は通常利用の目安です。利用機能や生成・修正回数で変動します。記事の確認・編集にかかる社内工数は別途必要です。

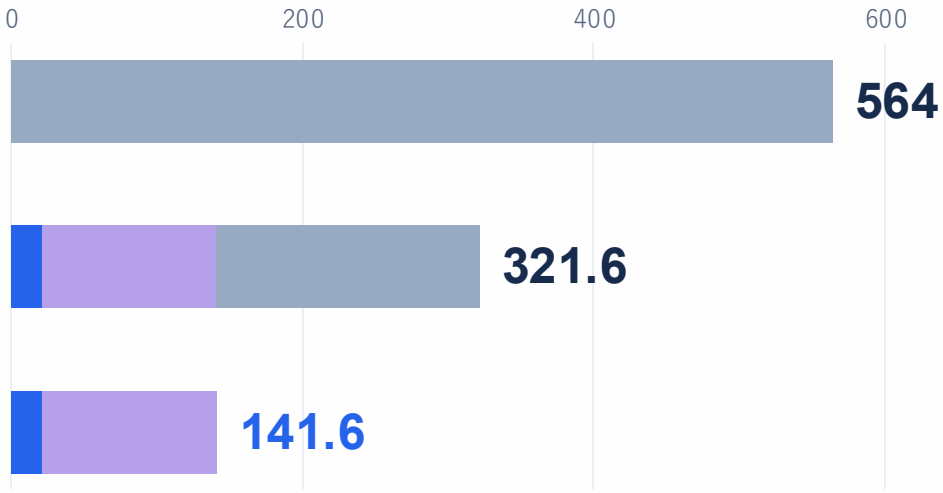
金額は税別。外注は公開料金を参考にしたモデルで、市場平均・同等品質を示すものではありません。追加社内作業は月40時間増の仮定（P18参照）。

SHILBe

年間費用が、どれだけ下がるか。

月8本 × 12か月の比較モデル。SHILBe側には、追加の社内作業の評価額も含めています。

年間の比較対象費用（万円）



外注モデル
月次支援 ＋ 記事8本

月次支援を残す
利用料 ＋ 社内作業 ＋ 支援

SHILBeで内製
利用料 ＋ 追加社内作業

■ SHILBe利用料
21.6万円／年

■ 追加社内作業
120万円／年

■ 外注費・継続する月次支援
継続する支援は180万円／年

外注モデルからの年間減少額

−422.4
万円／年

564万円 − 141.6万円 ＝ 422.4万円

月次支援を残す場合の年間減少額
−242.4 万円／年

追加社内作業とは　外注から内製に切り替えることで、担当者に増える確認・編集などの作業です。

例：AI原稿の事実確認・修正、改善案の検討・反映。月40時間 × 2,500円 × 12か月 ＝ 120万円／年を仮定。

担当者の時間を費用換算した額で、SHILBeへの追加支払ではありません。工数は実測値ではなく、作業内容によって変動します。

金額は税別。共通の社内作業・初期／移行費・追加クレジット・改修外注費等は対象外。実際の支出削減額・品質・成果を保証するものではありません。

SHILBe

無料診断から、最初の改善へ。

まず現状と改善候補を確認。利用する機能・プランに合わせて、事業情報や更新環境を整えます。

01 無料サイト診断

課題・改善候補を確認。
カード登録は不要です。

02 事業・環境を整理

事業情報・分析連携・
社内の対応範囲を確認。

03 1件から実行

提案を選び、確認・編集。
社内や制作会社が反映。

導入前に確認する、3つのポイント

内容の確認は社内で

AIの原稿は、事実・表現・
掲載可否を確認してから公開。

実装は体制に合わせて

文章変更や技術的な改修は、
社内・制作会社の担当を確認。

機能と環境を確認

分析連携はプランにより異なります。
記事の連携投稿にはWordPressを利用。

開始時の進め方の例です。検索順位や成果を保証するものではありません。利用機能・契約条件の詳細はサービスサイトをご確認ください。

無料サイト診断から、始めましょう。

あなたのサイトの、次の一歩を。

サイトの現状と改善候補を、無料で確認。
クレジットカードの登録は不要です。

01 **サイトの課題を知る**

現状と、改善する候補を確認。

02 **進め方を考える**

自社で取り組む作業を整理。

03 **プランを選ぶ**

データ・人数・サイト数に合わせて検討。

サービスサイトの「無料でサイトを診断する」からお進みください。